

池田 謙次 ・ 神山哲太郎 ・ 大西 厚子
藤田 広美 ・ 大野 正和

公明党議員団



池田謙次
議員

5項目のうち、勇払地域に関する案を2項目質問しました。

- ① 高齢者のための「コミセンのお風呂利用」が決定。希望者が多く「70歳以上の独居世帯」となりました。
- ② 唯一の「診療所」が12月いっぱいまで廃止となるため、ほかの病院への足の確保を要望しました。
- ③ 小中学生の「置き勉」を全校に徹底することを取りあげました。
- ④ 長年取り組んでいる公共施設トイレの洋式化が75%を超えました。
- ⑤ 安心・安全で、「防災無線（スピーカー）設置200台。個別受信機1万台。約20億円の予算で市内全般に配置いたします。



藤田広美
議員

本定例会では、胆振東部地震から1年目の9月6日正午に議場で黙祷をおこない、犠牲になられた皆様にご冥福を祈念し、さらなる防災力の強化を決意しました。議会中は議場でのノー上着

と、傍聴席を含めて水分の持込をできるようにしました。議会改革

検討会では、ICTの活用でタブレット導入に向けた議論を開始することになり、実務者会議の座長として取り組みます。総務委員会では、行政改革プランについて、計画完遂を目指した今後の見通しと、次期行革プランの策定について、時代に即応したAやICTを活用した取組の考えや、コールセンターの導入を質問。計画は工程通り完遂を目指し、AやICTを活用した取組や、RPA※といった先進技術が、これからの行革の柱になると考えており、調査・検討を進める。コールセンターの導入についても検討するとの答弁がありました。行革の促進に向けてさらに取り組んでまいります。



神山哲太郎
議員

がん患者の外見ケアの支援について質問し、市立病院や市内がん拠点病院などと情報共有しながら、外見ケアの周知や相談体制の連携など、体制づくりを推進していく

との答弁がありました。

障がい者理解の拡大（スポーツの推進について）を質問し、障がい者スポーツ（パラスポーツ）を含めた合宿誘致や障がいを持っていく方と市民との交流が図れるような体験会や、教室の種目を増やすなどの事業展開をおこなう計画をしているとの答弁がありました。そのほか、公共交通、認知症、山なみ分校について質問しました。



大西厚子
議員

児童虐待防止対策で、子ども家庭総合支援拠点の相談員一人あたりの担当件数を質問し、年間約200件のうち約45件が虐待対応で、人員体制の強化を求め検討するとの答弁がありました。

空き地の雑草除去について遠隔地の所有者の便宜を図る草刈りの業務委託制度を提案し、運用できるか検討すると答弁がありました。ほかに、子育て短期支援事業（シヨートステイ）について、ポイ捨て対策について、ブロック塀の安全対策について質問しました。

安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会で、避難所運営マニュアルに、ペット同伴への避難の対応についての事例を記載し、事態に応じて円滑に判断できるように改善すると答弁がありました。



大野正和
議員

歩道橋のネーミングライツについて、他都市の先進事例をもとに本市でも導入に向けて質問。令和元年度中に公募完了、令和2年6月を目途にスタートさせると答弁がありました。教育・各種税金・水道料金の徴収方法について質問。徴収業務の負担軽減・市民サービスの向上のためにクレジットカード・電子マネー決済の導入を要望。早期導入に向けて取り組むとの答弁がありました。水道事業は令和3年度中を目標に取り組むとの答弁がありました。そのほか、高齢者向け市民ボランティアについてと高齢者の運転免許についても質問。ご高齢者の安心・安全を守るべく今後の大きな課題として質問に立ちました。